

第6学年 組 体育科指導と評価の案

日時：平成16年11月11日(木)第2校時
 場所：体育館
 授業者：寺 境 広 美

1. 単元名 ボール運動 「バスケットボール」(7/11時)

2. 本時の目標

技能の内容：ゴールに向かって前へ走り、サイドや敵のいない場所に動いている味方同士パスをつないで、ゲームをすることができる。

態度の内容：目指す動きについて教え合い、励ましの声をかけ合うことができる。

学び方の内容：目指すゲームの動き方が分かり、練習やゲームに取り組むことができる。

3. 本時の評価規準

[技能]: サイドや敵のいない場所に動いている仲間にパスすることができる。

4. 本時の展開

過程	主な学習活動	学習集団	子どものつまずきに応じた指導・援助															
計	<p><準備運動> シュートやドリブル、パスを組合わせた練習をする。 (三角パス、ランニングパス、ドリブルシュートなど)</p> <p><全体計画会> ・前時の姿から本時のG課題や練習方法を発表する。 今日の全体課題を知る。</p>	グループ 全体	<p><前半練習・練習ゲーム></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Aコート 3G - 4G 3G - 5G</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Bコート 1G - 5G 2G - 4G</p> </div> </div> <p>2分交代 1分アドバイス</p>															
	<p>ボールを保持している人よりゴールに向かって前へ走り、敵のいない場所に動いている仲間にパスをして、パスをつないでゲームをしよう。 目指す動きについて教え合い、励ましの声をかけ合う仲間になろう。</p> <p>本時課題とする動きが分かる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを保持したら(いつ) ・サイドや敵のいない場所にいる仲間に(どこへ) ・素早くパスする。(どう動く) </div> <p>練習の場や方法が分かる。</p>	グループ	<p><後半練習・ゲーム></p> <p>1試合4分・出場人数5名・審判1名・記録2名</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>Aステージ側</th> <th>Bロビー側</th> <th>審判</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3G - 5G</td> <td>4G - 1G</td> <td>2G</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3G - 1G</td> <td>2G - 5G</td> <td>4G</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1G - 2G</td> <td>3G - 4G</td> <td>5G</td> </tr> </tbody> </table>		Aステージ側	Bロビー側	審判	1	3G - 5G	4G - 1G	2G	2	3G - 1G	2G - 5G	4G	3	1G - 2G	3G - 4G
	Aステージ側	Bロビー側	審判															
1	3G - 5G	4G - 1G	2G															
2	3G - 1G	2G - 5G	4G															
3	1G - 2G	3G - 4G	5G															
展	<p><グループ計画会> ・リーダーを中心にG課題と個人課題、きまり、動き方を作戦板で確かめる。</p> <p><前半練習> リバウンドをとった局面から素早く広がり、パスをつなくゲーム形式の練習をする。 ・3つ動きの視点で自分の動きや仲間の動きを確認する。 お互いのプレーを見合い、気付いた事を教え合う。</p>	グループ グループ																
	<p><中間研究会> 敵をひきつけるとスペースが生まれ、そこに動いた仲間にパスすると、パスがつながることが分かる。 仲間の声のかけ方や教え合いのよい姿を知る。</p> <p><後半練習・ゲーム> 敵のいない場所やスペースにいる仲間にパスできなかったGは、中間研究会で分かったことを取り入れ、ゲームをする。 リーダーやPOの動きの指示やMOの声かけに応え、声を出したり、教え合ったりする。</p>	全体 グループ	<p>つまずきの様相</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボールを保持しても、敵のいないスペースにいる仲間やサイドにいる仲間、気付かず、パスができない。一人でドリブルして運んだり、強引にシュートしたりする。</p> </div> <p>指導・援助</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「右サイド」「後ろ見て」など声で知らせ、気付かせる。 ・スペースを意識できない子がいるチームには、大きな声を出して自分の位置を知らせたり、手を挙げたり、たたいたりして合図をしたりするように話す。 </div>															
開	<p><グループ反省会> 一人一人の課題の達成ぶりを交流し、よりよい動きになった子を認め合う。 ・次の時間の作戦や課題をPOやリーダーがゲーム記録と観察から話す。</p>	グループ	<p>つまずきの様相</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>敵のいないスペースを見つけるまでに時間がかかったり、すぐパスできなかったりするため、敵に囲まれてしまい、パスできない。</p> </div> <p>指導・援助</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、ボールを保持したらゴール付近で、仲間が合図していないか見るように話す。 ・「今パス」「すぐ」などパスを素早くするタイミングを大きな声で話す。 </div>															
	<p><全体反省会> 特に動きが良かった子や高まった子を認め合い、できるようになった理由を知る。 仲間の動きの教え合いのよい子やグループを認め合う。 ・ゲーム記録と観察から、本時の成果を知り、次のゲームの課題をもつ。</p>	全体																
評																		
価																		

